

---

## Outlook 2016 のアカウント設定ウィザードを

### 従来の画面構成に戻す方法

---

このコンテンツでは Outlook 2016 のアカウント設定ウィザードを従来の画面構成に戻す方法を説明します。

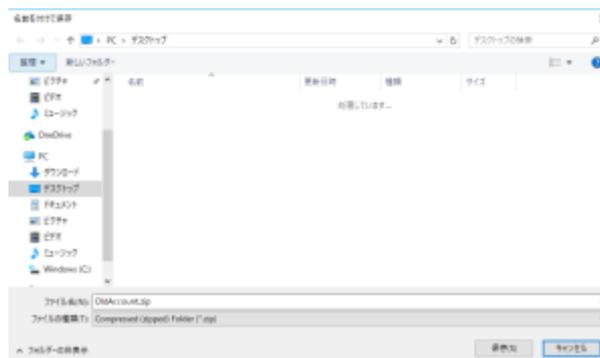
現行のアカウント設定ウィザードで「問題が発生しました」エラーが発生する場合は、以下の手順でレジストリ修正ファイルをダウンロードして適用してください。

#### 参考リンク

[クイック実行版の Outlook 2016 で POP や IMAP のアカウントを設定すると「問題が発生しました」エラーで失敗する](https://msdnshared.blob.core.windows.net/media/2017/09/OldAccount.zip)

1. 以下のリンクをクリックして、OldAccount.zip をデスクトップなど判りやすい場所にダウンロードします。

<https://msdnshared.blob.core.windows.net/media/2017/09/OldAccount.zip>



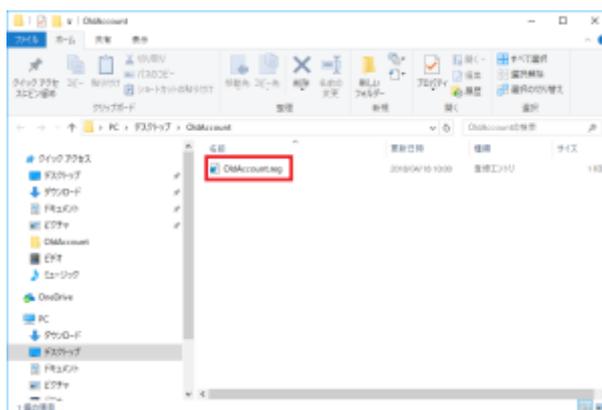
2. ダウンロードした OldAccount.zip を右クリックし、[すべて展開] をクリックします。



3. 「圧縮 (ZIP 形式) フォルダの展開」画面が表示されますので、[展開] ボタンをクリックします。



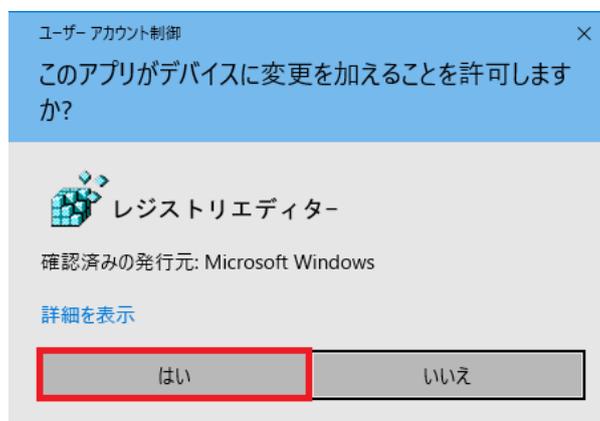
4. OldAccount.reg をダブルクリックします。



5. セキュリティの警告画面が出るので[実行] ボタンをクリックします。



6. 「ユーザーアカウント制御」画面が出るので[はい] ボタンをクリックします。



7. 「レジストリエディター」画面が出るので[はい] ボタンをクリックします。



8. [OK] ボタンをクリックして画面を閉じます。



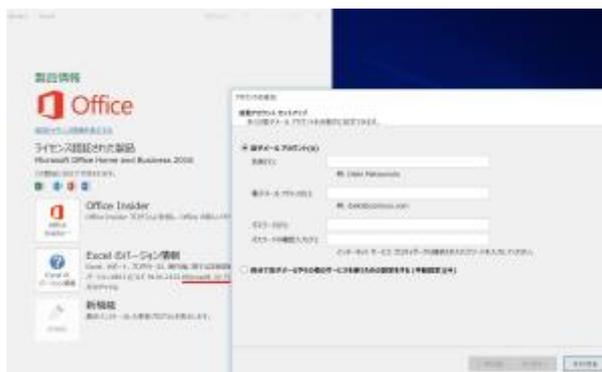
以上で操作は完了です。Outlook 2016 のアカウント設定画面を起動すると従来のウィザード画面が表示されるようになります。

この後の設定方法は以下の URL で確認してください。

[Windows 10 で outlook 2013 を設定する方法](#)

※クイック実行版だけでなく Microsoft ストア版 Office 2016 でも従来の画面構成が表示されます。

ただし、Surface Laptop に搭載されている Windows 10S ではご利用になれません。



## 備考

OldAccount.reg を適用することにより、以下のレジストリが作成されます。

HKEY\_CURRENT\_USER\SOFTWARE\Microsoft\Office\16.0\Outlook\setup

値の名前: DisableOffice365SimplifiedAccountCreation

値の種類: REG\_DWORD

値のデータ: 1

